



更新:2023年11月14日

公益財団法人東京都アイスホッケー連盟

女子委員会

2023年度東京都女子アイスホッケーリーグ戦 大会要項

- 1 大会名称 2023年度東京都女子アイスホッケーリーグ戦
- 2 主催 公益財団法人東京都アイスホッケー連盟
- 3 期間 2023年12月10日(日)~2024年3月3日(日)
- 4 会場 **ダイドードリンコアイスアリーナ**
〒202-0021 東京都西東京市東伏見 3-1-25 Tel: 042-467-7171
東大和スケートセンター
〒207-0022 東京都東大和市桜が丘 1-1330-19 Tel: 042-566-6891
- 5 大会事務局 公益財団法人東京都アイスホッケー連盟
〒202-0021 東京都西東京市東伏見 3-1-25
Tel: 042-467-8282 Fax: 042-468-2131 E-mail: tihf@tihf.gr.jp
- 6 参加チーム Tweedia Crest、日本体育大学、東京女子体育大学、
SEIBU プリンセスラビッツ、シルバーシールズ(5チーム)
- 7 参加資格 1) 選手およびスタッフは、(公財)東京都アイスホッケー連盟所属の
女子チームに登録し、公益財団法人日本アイスホッケー連盟に登録
している。
2) 出場選手は中学生以上とし、高校生以下の選手については各チームで
保護者の承諾を得る。
- 8 選手登録 **大会参加申込み期限[2023年11月10日(金)]までに登録が完了してい
る。**
- 9 代表者会議 実施しない。必要事項については、E-mail、オンラインで協議・確認する。
- 10 閉会式 実施しない。
- 11 表彰 チーム表彰は、優勝・準優勝・3位とする。
個人表彰は、各チームから1名ずつのベストプレイヤー賞とする(監督推
薦)。
※表彰は、大会が中止・途中打ち切りになった場合は、行わない。
- 12 参加申し込み期限
以下を**①女子委員会②連盟事務局宛てに**
E-mailにて送付する(1通のメールに**2つの宛先を指定すること**)。
1) **2023年11月10日(金)までに**
(1) 指定の参加申込書(Excel、押印省略可。PDFに変換しないこと)

2) 2023年11月30日(木)までに

- (2) スポーツ傷害保険加入証書の写し(PDF)、加入者明細の添付必須。

大会費

200,000 円

内訳)

大会参加費	20,000 円
試合費	180,000 円
計	200,000 円

13 振込み期限

2023年11月30日(木)

14 振込先

銀行名: 東京三協信用金庫 東伏見支店(店番号 016)
口座名: 公益財団法人東京都アイスホッケー連盟
ザイ)トウキョウトアイスホッケーレンメイ
口座番号: 0104277
預金種目: 普通預金

※振込みの際は、振込人名義に必ず「チーム名」をつけてください。

15 キャンセル規定

- 試合を棄権したチームに返金はない。
- 一方のチームが試合を棄権する場合、対戦チームは、その時間帯を利用して、練習試合を組むか単独での練習を実施してください。
- 試合が中止となった場合は、リンクのキャンセル規定に基づき、返金を行う。

16 試合映像撮影・配信

- 本大会では試合の映像撮影および映像配信を行うことがある。
本大会に参加する全ての選手、スタッフ、競技役員等は、本大会参加中の肖像の管理を(公財)東京都アイスホッケー連盟に委ねることに本大会参加をもって承諾したこととする。
- AIカメラ(公財)日本アイスホッケー連盟による動画配信について:
本大会における試合のテレビ・ラジオ放送権、インターネットその他一切の公衆送信を行う権利(公衆送信権)は、(公財)日本アイスホッケー連盟に帰属することとし、公衆送信権を(公財)東京都アイスホッケー連盟に許諾することがある。

17 個人情報の取り扱い

- 個人情報を含む競技結果(記録)、所属と個人を識別するために必要な情報、および写真・映像は、次の方法等で公表することがある。大会申込書が提出された時点で、本取り扱いに承諾を得たものとする。
 - 当連盟ウェブサイト・SNS 等への掲載
 - 大会プログラムへの掲載

- 会場内外の掲示、場内アナウンスによる紹介等
- 報道機関への提供
- 当連盟報告書等への掲載

18 その他

- 感染症等、社会情勢の影響による日程変更・対戦方式の変更・特別な条項が追加される可能性があることをご承知おきください。

競技要項

19 競技方法・競技時間

- 1 回戦総当たりのリーグ戦で行う。
- 全試合正味 15 分(ストップタイム)×3 ピリオドで行う。
- 練習・インターミッションは各 5 分とする。
(整氷→練習→P1→インターミッション→P2→インターミッション→P3)。
- ホーム・ビジター制度を適用する。試合前のパックスにより、ホーム・ビジターを決定する。
仮ホームチーム(2022 年度同大会の上位チーム、対戦表の左側)は、本部席から向かって左側のベンチに入る。
- 10 点差以上の得点差がついた時点で、次のフェイスオフ以降、ランニングタイムとする。
 - 1) 差が縮まった場合でも継続する。
 - 2) 次の場合は時計を止めるものとする。
 - a) 得点時一旦止めるが、レフェリーがオフィシャルに報告にきた時点で、直ちにスタートする。
 - b) 反則発生時一旦止める。次のフェイスオフでスタートさせる。
 - c) レフェリーの指示があったときに時計を止める。次のフェイスオフでスタートさせる。
 - d) タイムアウト時、時計を止める。タイムアウト終了後、直ちにスタートさせる。
 - 3) 反則時間終了時にプレーが止まっていたら、その選手は次のフェイスオフでバックがドロップされるまでペナルティベンチから出られない。
- 1 試合につき、両チームそれぞれ 1 回のタイムアウト(30 秒)を取ることができる。

20 順位決定方法

勝ち点制を採用する。勝ち点は以下の通りとする。

勝ち	引き分け	負け
3	1	0

2 チーム以上の勝ち点と同点の場合は、以下の順に順位を決定する。

- 1) 当該チーム間の試合で得た勝ち点が多いチームを上位とする。
- 2) 当該チーム間の試合の総得点数から総失点数を引いて、その差の大きいチームを上位とする(得失点差)。
- 3) 当該チーム間の試合の総得点数が大きいチームを上位とする(得点差)。
- 4) 全試合の総得点数から総失点数を引いて、その差の大きいチームを上位とする(得失点差)。
- 5) 全試合の総得点数が大きいチームを上位とする(得点差)。
- 6) 2022 年度東京都女子アイスホッケーリーグ戦での上位チームを上位とする。

21 競技規則

公益財団法人東京都アイスホッケー連盟の定める補助規則(第 21 項)を除いて、原則として国際

競技規則、および、公益財団法人日本アイスホッケー連盟が定める規則によるものとする。

「第 38 条コーチチャレンジ」は適用しない(本大会では、ビデオサポートシステムを使用しないため)。

国際アイスホッケー連盟(IIHF)改正新ルール¹⁾の適用

<2023-24 シーズン> IIHF ルール変更点

[info.20230724_143849.pdf\(jihf.or.jp\)](http://info.20230724_143849.pdf(jihf.or.jp))

22 補助規則

- 1) 試合を棄権するチームは、速やかに、遅くとも試合開始日前日の 17 時まで、その理由を 1) 女子委員会に連絡し、2) 連盟まで文書で届け出なければならない。
試合を棄権した場合、0 対 15 で不戦敗とし、別に定める罰則規定により罰則を科す。
ただし、感染症等による試合棄権の場合は、0 対 15 で不戦敗とするが、罰則は科さない。
- 2) 連盟未登録選手が出場した場合、当該試合は没収試合とし、不戦敗とする。
- 3) オールメンバー表は、試合開始 30 分前までにオフィシャルに提出する。
- 4) オールメンバー表に記載されていない選手は試合に出場できない。発覚次第、退場とする。
当該選手がポイント(ゴール・アシスト)をあげても無効とする。
当該選手がペナルティをおかした場合は、代替選手がそのペナルティを受けるものとし、当該選手は退場とする。背番号の間違いは発見次第、直ちに修正すること。ポイントは認められ、出場可能とする。
- 5) 試合実施に必要な最低人数は 6 名(ゴールキーパー1 名とスケーター5 名)とする。試合開始時まで最低人数に満たない場合、当該チームは試合を棄権したもののみなし、不戦敗とする(棄権については 22-1 項を参照)。
両チームが人数に満たない場合は、両チームとも -15 点とし、両チームが不戦敗とする。
- 6) オールメンバー表に記載されていないスタッフはベンチ入りできない。
- 7) ベンチ入りは選手・スタッフ(監督・コーチ等)を含めて最大 25 名までとする。ゴールキーパーは 2 名以内、スタッフは 6 名以内(最低 1 名)とする。
- 8) 選手は、統一したユニフォームとストッキングを着用し、ヘルメットとパンツは同色を着用しなければならない。
- 9) プレーヤーは、顔全面を覆うフルフェイスマスクの付いたヘルメット、ネックガード、マウスガードを着用しなければならない。
ヘルメットは、付帯のパーツを正しい位置に装着しなければならない。顎紐と顎の間のゆとりは、指 1 本分のみとする。
- 10) ゴールキーパーは、ネックガード、および、パックおよびスティックが貫通しないマスクを着用しなければならない。
- 11) ユニフォームは完全にパンツの外側に着用し、タイダウンストラップで常にパンツに適切に固定しなければならない。
- 12) ユニフォームの背中の名プレートや背番号が見えなくなるほど髪の毛が長いプレーヤーは、ポニーテールにするか、ヘルメットの中に髪の毛を入れなければならない。
- 13) 選手の怪我防止のため、選手の用具やユニフォームが正しく着用されているかを確認す

るため、下記の手順を取る。

- 試合開始前の整列時、正しく着用していない選手に対しては、直ちに改善することを指示し、チームに警告を与える。
- 試合開始後、正しく着用していない選手に対しては、ミスコンダクト・ペナルティを科す。これはレフェリーの判断によりペナルティを科すもので、チームからのアペールは受け付けない。

14) 「お守り」をつける場合は、パンツ等の中に縫い付けて着用する。防具等の外につけることはできない。

15) 危険防止のため、ベンチ入りする選手は試合中、フルフェイスマスクの付いたヘルメットを着用する。

16) ペナルティベンチ内ではヘルメットを着用し、出場 30 秒前まではベンチに座っていること。

17) オフィシャル当番チームは、9 名で担当する。(ゴールジャッジ 2 名、ペナルティアテンダント 2 名、タイムキーパー 1 名、ペナルティタイムキーパー 1 名、スコアキーパー 1 名、アナウンス 1 名、ショットカウント 1 名)。試合開始 30 分前に集合し、準備を行う。当番を代行してもらうことは極力避ける。やむを得ず代理を立てる場合は、試合開始前日の 17 時まで、代理の人員(チーム)とその理由を 1) 女子委員会に連絡し、2) 連盟まで文書にて届ける。

当番に遅刻・欠席、欠員した場合は、別に定める罰則規定により罰則を科す。

18) 試合には、当連盟レフェリー委員会より、レフェリー 1 名、ラインズパーソン 2 名を派遣する。

<感染症対応>

19) 試合時のツバ吐き行為は、いかなる理由があってもゲームミスコンダクト・ペナルティを科す。一旦口に入れた水等を吐き出す行為もツバを吐く行為と同様にみなす。

23 罰則規定

試合、オフィシャル当番に遅刻、欠席、欠員、棄権した場合や、連盟の規約違反をした場合は、罰金から無期限試合出場停止までの罰則を科す。

24 保険の加入

大会参加チームは必ずスポーツ傷害保険等に加入しておく。(保険証書の PDF を提出する。大会要項 12 項を参照)。

選手・スタッフ等の移動を含む本大会に係る事故、負傷、盗難等について、本連盟は責任を負わないので、各チームが責任を持って予め対処する。

25 試合中の負傷・傷害

試合中に選手が負傷した場合、応急処置は行うが、その後は各チームおよび個人の責任とする。

選手の負傷について、チームは所定の「傷病報告書」にて、公益財団法人東京都アイスホッケー一連盟に届ける。

26 感染症等対応の特別ルール

- 1) チーム内に指定感染症等の陽性者、体調が悪い者がいた場合は、医療機関、保健所、自治体等の指示に従い活動を自粛する。速やかに女子委員会に連絡する。
- 2) 施設関連：
 - 試合後、ベンチ内や更衣室にゴミ(ドリンクのボトルや使用済みのティッシュ等)を放置しない。忘れ物がないか確認する。ゴミは施設内のゴミ箱やリサイクルボックスに、正しく分別して入れる。
 - 更衣室のシャワー利用を禁止する。

*** 感染症等対策等の社会情勢により大会期間中であっても内容変更の場合があることをご承知おきください。**